



お金のありがたさ

福岡県・川崎町立川崎中学校 3年 徳重 優花

私たちは、あたりまえのように親からお金をもらっています。でもそのお金は、親が一生懸命に働いて得たお金です。

私たちは本当にお金のありがたみが分かっているのでしょうか。調べたところによると、最低賃金は701円だそうです。一生懸命、働いて、1時間701円です。でも、私たちは700円なんて、すぐに使うことができます。しかし、最低賃金で働いている人たちは、私たちとは700円の重みが違うと思います。先日、アルバイトをしている人に話を聞く機会がありました。私は、「あんまりお金にならないのに、どうしてそんなに働くの。」

と聞きました。すると、

「働かないと、お金がもらえないんだよ。楽しんでもらえる仕事はないし、社会に出るための練習。」

と答えてくれました。

その話を聞いて私は驚きましたが、社会に出るとは、働いてお金をもらって生活することだとあらためて感じました。

私たちが今している50分間の授業は、働く時間いっぱいがんばることができるようになるための練習で、宿題は提出期限を守るための練習、チャイム席は勤務時間に遅れないための練習だと思います。学校は、社会に出るための練習の場です。社会に出て、働いて、お金を得て、はじめて自立だと言えらと思います。

お金は大事なものです。1円を笑うものは1円に泣くと言う格言もあります。これは、たかが1円、されど1円と言われるほど、この1円がないだけで買えないものもあります。1円玉は軽くても、1円の重みは大きいのです。

私はこの夏、職場体験に行きました。私は歯科医院で働きました。体験なので、そんなに厳しくはありませんでしたが、患者さんへの呼びかけや、患者さんが





居心地がよくなるように待ち合い室を片づけたりしました。

働くということは、言われたことだけをするのではなく、自分から仕事を見つけて動くことが大切なんだと思いました。職場体験の場を与えてくださったひらつか医院の先生をはじめ、歯科助手のみなさん、受けつけの方には感謝の気持ちでいっぱいです。なぜなら、貴重な仕事の時間を私たちについやしてくださったからです。

歯科医院のみなさんは、就業時間のあいだはほぼ立ちっぱなしです。麻酔を打ったり、歯をけずったりします。集中しておこなわないと大変なことになります。みなさんはいつも、集中してお仕事をされていました。楽な仕事はないんだな、と思いました。こうしてがんばって得られるものがお金です。お給料は、1ヶ月がんばったごほうびなんだと思いました。私は1日半の勤務でも、大変だと感じたのに、1ヶ月もあるなんて本当にすごいです。

私の両親もこんなふうがんばっているんだな、と思うとお金もむだ使いはできません。私の両親はお給料をもらえるところで働いていますが、私の祖母は自営業です。酒屋です。自営業は自分が動かないと、お金にはなりません。売り上げを上げるために、色々工夫をしなければなりません。祖母は一人でやっているのに、重い物を一人で運んだり、仕入れを工夫したり、たばこの注文は大変なのに、期日を守ってがんばっています。

私も職場体験で働いたからこそ、両親や祖母の苦勞も少し分かったような気がします。

これから、私も自分で働いて、お金を得て、生活ができる自立した大人になるために、学校での学習も、社会へ出るための練習と思って苦しいことでも、やり通したいと思います。これができれば、社会に出て少々つらいことがあっても、やめたりしないで続けられると思います。お金が貯まれば、自分が好きなことができます。お金があるから使うのではなく、目的に向かってお金を貯めることができる計画性を身に付け、お金のありがたさが分かる大人になりたいと思います。

